

名古屋大学理学部広報誌

「理 *philosophia*」

<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/kouhou/index.html>

第19号（2010年10月15日発行）

<https://www.sci.nagoya-u.ac.jp/publication/files/pdf/19.pdf>

巻末の「編集だより」

「巻頭の『時を語るもの』は、名古屋大学において優れた研究を成し遂げた研究者の姿をたどり、その当時の写真とともに、研究者の人となり、エピソードなどで構成する。第16～18号ではノーベル賞の益川敏英氏、小林誠氏、下村脩氏がこのページでそれぞれ紹介された。今号は中野藤生氏を取り上げた。電気伝導度の『中野・久保公式』は、ブラウン運動の研究からアインシュタインが見出した関係式を量子論的に拡張したものであり、20世紀後半から現在に至る非平衡統計力学の元祖的研究として位置づけられている。と教科書的に書いてみたが、実は、筆者が中野氏の業績を知ったのは、恥ずかしながら、『物性研究』**84**, 157（2005）の中野氏のインタビュー記事を読むように同僚から勧められたのが契機である。その後、2006年4月に83歳の中野氏に最新の研究成果に関するセミナー講演をしていただいた。その内容は学術論文として『物性研究』**86**, 733（2006）に掲載された。80歳を越えてもなお衰えない中野氏の研究意欲に圧倒された次第である。（岡本祐幸）」